

■納涼旅行会 2019 ～群馬県の鉄道を訪ねる旅&納涼会～

今年の納涼旅行会は、久々に群馬県の鉄道を訪ねます。

期 日 7月21日(日) (雨天決行)

集 合 JR高崎線深谷駅改札口10:00または上信電鉄高崎10:53発21両先頭車車内

接続列車:横浜7:59、東京8:29、赤羽8:45、浦和8:55、大宮09:04(上野東京ライン3920E快アーバン)09:47深谷

納涼会のみの参加は、JR大宮駅「みどりの窓口」前18:40

行 程 深谷10:04(JR高崎線1838E)10:32高崎10:53(上信電鉄21両)11:56下仁田～(昼食)～下仁田

13:04(上信電鉄34両)14:07高崎14:35(JR両毛線451M)14:49前橋～(徒歩またはバス)～中央

前橋15:15(上毛電気鉄道41両)15:53赤城16:12(東武桐生線 830両)16:15相老16:30(わたらせ

渓谷鐵道724D)16:36桐生16:40(JR両毛線455M)17:38小山17:42(JR東北線1595E)18:31大宮

到着後納涼会開催 (この行程は都合により変更する場合があります)

参加申込・参加費不要 JR「ぐんまワンデー世界遺産パス」(2200円、深谷駅で購入できます。群馬県

内のJR・上信電鉄・上毛電気鉄道・東武鉄道・わたらせ渓谷鐵道・ジェイアールバス関東乗降自由)

でご参加ください。他に深谷駅までと小山駅からの運賃、昼食費、納涼会に参加される場合は

飲食費(3000円程度)が必要です。

■ 8月例会は開催日時を変更します

8月例会は今年も日時を変更して日曜日・祝日(山の日)の午後開催とします。お間違いのないようご注意ください。

日 時 8月11日(日・祝) 13:30～16:50

会 場 浦和コミュニティセンター 第10集会室

参加費 200円

■月例会の予定

9月10日(火)19:00～21:10 浦和コミュニティセンター 第4集会室 参加費:200円

■10月例会も開催日時を変更します

10月例会も日時を変更して祝日(体育の日)の午後開催とします。

日 時 10月14日(月・祝) 13:30～16:50

会 場 浦和コミュニティセンター 第9集会室

参加費 200円

■6月例会報告

6月11日(火) 浦和コミュニティセンタ 第4集会室 19:00～21:10 参加 9名

情 報 交 換 1989年3月に開園した秩父鉄道三峰口駅構内の鉄道車両公園が、リニューアルに伴い7月頃まで立ち入り禁止となり、展示車両は老朽化が進んでいるため解体撤去される。

11/27-29第6回鉄道技術展が、幕張メッセ5～8ホール(10-17時)で開催される。第3回橋梁・トンネル技術展も同時開催。入場料2000円(招待券持参者、インターネットからの事前登録者は無料)。

3/16西武ダイヤ改正で国分寺線は東村山駅付近連続立体交差事業の進捗に合わせ新宿線との直通運転が休止となり、西武園駅への一部電車を除いて国分寺-東村山間の折返し運転となった。都営浅草線泉岳寺駅で、ホーム拡幅、コンコース拡張、エレベーター増設、JR新駅との歩行者ネットワーク形成などの大規模改良が行われる。

東京都立多摩図書館(JR中央線・武蔵野線西国分寺駅南口徒歩7分)で、鉄道写真をテーマにした鉄道写真家、長根広和さんの講演会(7/6、14～16時)とワークショップ(8/10、14-16時)「鉄道写真の魅力と撮影のテクニック」が開催される。参加無料・要申込。 他

映 像 東武伊勢崎線・西武拝島線・鉄道のまち大宮鉄道ふれあいフェア他、故田井和雄さんの映像2014

頒 布 資 料 京王ニュース(6月)(6月特別号)、Keio高架化Information(Vol. 1)、あめつち(JR西日本)、講演会・ワークショップ「鉄道写真の魅力と撮影のテクニック」(東京都立多摩図書館)、他パンフレット類

2020年に50年を迎える埼玉サークル(7)

東京で56年ぶりにオリンピックが開催される2020年に埼玉サークルは発足50年を迎えます。会報にスペースがあるときに埼玉サークルの記録ファイルの中からかつての記録をご紹介します。

1979年度 鉄道友の会埼玉サークル事業報告(1979. 4. 1～1980. 3. 31)

40年近く前の「1979年度鉄道友の会埼玉サークル事業報告」を掲載します。当時の活動の片鱗を感じていただければ嬉しいのですが。

1979年度	列車運行図表	国鉄 中央・総武線電車(昭和50.10.1改正・1980.4.1改正)(1979.6.16)
鉄道友の会 東京支部 埼玉サークル 事業報告(1979.4.1～1980.3.31)	車両部品	53-10 改正 国鉄列車ダイヤ(合併・1時間短縮) (1979.7.28)
(1) 月例会	ネグティブ	国鉄 東海道線 快速列車(昭和52.10.1改正・1時間短縮) (1979.10.24)
12回開催(毎月第2火曜日-8月のみ第3火曜日) 会場:埼玉駅労働会館(19:00-21:30)	車載201系電機記念 (1979.6.12)	
平均参加人数 25.2名 内容:ニュース交換・講演・スライド・各種資料頒布等	国鉄 962形 製作増産記念 (1979.10.29)	
・講 演 国鉄55-10 直止ダイヤについて 野平会員(7月)	国鉄 962形 319トヨタ 高速度記録 (1980.3.22)	
ダイヤの見方 田井会員(9月)	国鉄 ML500 517トヨタ 高速度記録 (1980.3.22)	
抽選・鉄道の運行管理システム 高岡会員(11月)		
国鉄11系電車 新快速運用解説 田井会員(2月・3月)		
東京近郊の鉄道の思い出 田井会員(3月)	(7) その他行事	納涼会(1979.7.22) 会場:北蕨和「滝老乃滝 北蕨和山口店」 参加 10名
・編 会(6月)	忘年会(1979.12.11) 会場:北蕨和「滝老乃滝 北蕨和山口店」 参加 13名	
・新年会(1月) 新年忘年会	(8) 秋夕会	秋夕会 小田原1800系竣工記念撮影(1979.4.29.30)
(2) 東武10周年記念事業	北越守野撮影旅行(1979.8.3-5)	
埼玉サークル・シンボルマーク公募(1979.12.1) 締切は 1980.4.15	秋夕会 三原館撮影(1979.9.15, 1979.10.1)	
会誌「レールファン」1980年3月号(No.316) 埼玉サークル発足10周年記念特集	新年会・忘年会撮影会(1980.1.3)	
特集ページ数 36ページ(最終 裏表紙含む)	国鉄 上野線 越後守運行撮影会(1980.1.12)	
特別例会(1980.3.23) 会場:埼玉駅労働会館2階教室(13:30-16:30)	西武鉄道 中野駅特設撮影会(1980.1.27)	
記念講演 吉村忠光氏「東京近郊の車両の現状と未来」	小田原 上野線 撮影会(1980.2.10)	
野平秀一氏「鉄道写真のはなしと埼玉・鉄道関係」	例会(不定期) 毎月2-3回 加藤 隆 氏 等	
10周年記念 記念会	(9) 会 議	幹事会 13回開催 4-12月 毎月第1火曜日 会場:埼玉駅労働会館
参加 58名(会費 300円)		1-3月 毎月最終火曜日 会場:浦和市庁市民館
(3) 見学会	(10) 役 員	副会長 伊藤明世、酒井孝房
西武 新101系とみる会 <高崎小千通車両管理所>(1980.1.26) 参加 65名	代 表 ヨシダ シズオ	
東武 5000系とみる会 <尾山森林公園電車基地>(1980.2.3) 参加 28名	会 員 長 飯沼(女師)、深谷庄良(オ・ル)	
(4) 撮影会	会 計 吉岡秀樹	
国鉄 武蔵野線 東浦和付近(1979.7.22) 参加 14名	幹 事 加藤 隆(秋夕会)、直藤 孝、佐竹雅夫、野中伸爾、藤岡 裕(専業主婦)	
(5) 広 報	監 査 江島雄一	
会報「サークルだより」No.76～No.87, No.87増刊 刊行(1&E No.81は休刊)	1980年3月31日	鉄道友の会 東京支部 埼玉サークル
例会・行事などの連絡はかき(2回)		代 表 ヨシダ シズオ
会誌「レールファン」の行事報告・頒布品案内等掲載(No.305,310,313,314)		
「鉄道友の会埼玉サークルへの招待状」(パンフレット)複製配布(1979.5)		
市販雑誌への記事掲載 「鉄道ファン」誌 (No.217)		
「鉄道ジャーナル」誌 (No.147, 152, 154, 156)		
会長名簿の訂正(1979.12)		
(6) 頒 布	車両形式図	南海電鉄(鉄道誌) (1979.6.5)
		岡山電軌 (1979.6.5)
	車体仕様図	横浜平文書局 (1979.6.16)

(参考) 1979年度 月例会 参加回数表

月	4	5	6	7	9	9	10	11	12	1980-1	2	3
参加回数	24	21	24	31	21	19	24	23	30	28	24	33

平均参加人数 = 25.2名 (29.2名)
標準偏差 = 4.4名 (2.7名) ()内は前年度(1978年)の値
例会費: 150円 (1月のみ 500円)

■ 先月、金融庁の審議会による報告書が「65歳以上の夫と60歳以上の妻の無職の夫婦の場合、毎月の年金収入は約21万円で、支出はそれを上回る約26万円。約5万円の赤字が出るため、夫婦で95歳まで生きると、年金以外に2000万円の蓄えが必要との試算」を公表し、社会が驚きました。参院選前ということもあって、麻生金融担当相はこの報告書の受け取りを拒否しましたが、人生80年がいつの間にか人生100年時代といわれるようになりました。でも日本の男性の平均寿命は80.98歳、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間と定義される健康寿命も、伸びたとはいえ72.14歳(健康日本21(第二次)推進専門委員会2018)でしかなく、誰もが健やかに100歳まで生きられるわけではありません。

老舗の鉄道模型雑誌「鉄道模型趣味」(略称TMS)の編集長に4月に就任された名取紀之さんが、同誌7月号(No.930)の編集者の手帖欄に「このところ人生100年時代と喧伝され始めましたが、鉄道趣味の最終的な終着点は、最期にこの趣味と出逢えて良かったと思うことではないでしょうか。TMSはささやかながらそのお手伝いをしたいと願っています。」と記されていました。当鉄道友の会埼玉サークルもそうありたいと思いました。(F)

埼玉サークルは、中高生会員の皆さんが参加しやすいよう、例会・行事の参加費を免除しています